

(社) 京都府情報産業協会
地域情報化委員会 各位

地域情報化委員長 古川峰生 (文責)

第2回地域情報化委員会 議事録

- 開催日時 平成14年8月6日(火) 15時～17時
- 開催場所 (社) 京都府情報産業協会 事務所(京都コンピュータ学院駅前校1F)
- 出席者 (順不同、敬称略) 9名(欠席6名)
安達貞雄(アステック) 小林峰夫(宝ネットワークシステム)
山本茂樹(京信システムサービス) 土井達也(日本コンピュータファシリティ)
駒井一正(京都電子計算) 馬場喜芳(バンテック)
藤原正樹(けいしんシステムリサーチ) 古川峰生(総合システムサービス)
直江一治(島津ビジネスシステムズ)

■ 議事・報告

- 1) 情報化セミナーご報告
- 2) 京都情報産業実態調査の件
- 3) 京都 ONE 構想の件

■ 議事・報告内容

- 1) 情報化セミナーのご報告
 - ・地域情報化委員会主催のセミナーを7月29日、13時～16時半、ハートンホテルで開催する。京都府中小企業総合センターが共催となる。
 - ・74名(会員は47名)の参加を戴き、まずまずの好評(アンケート結果等)を得る。
 - ・費用面でも予算内に賄うことが出来たので問題は無い。
- 2) 京都情報産業実態調査の件
 - ・アンケート項目の決定に際して各種要望(府及び京都産業21から)が発生したので当初計画より遅れたが8月6日に送付完了(約500部)している。
 - ・地域情報化のメンバーはアンケート結果分析に協力をお願いしたい。アンケート回収分の入力、集計表、報告書作成等は外部へ委託を想定している。但し回収率(8月末がメ切)が非常に悪い場合、回収に廻る作業をお願いする可能性は存在する。
 - ・補助金の範囲内で事業が推進できる見込みである(資料渡し)。(財)京都産業21と補助金予算の調整を8月までに完了予定である。
 - ・次回の委員会開催には集計結果の分析議論(事前資料配付予定)を考慮している。
- 3) 京都 ONE 構想の件
 - ・京都 ONE 構想の事務局(中小企業活性化の部会)に入り込めている。
 - ・NRI(野村総合研究所)から中小企業向けASPサービスに関して強調連携の申し入れを戴いている。7月25日にNRIと意図・要望等の調整を実施する。
 - ・NRIの意図も明確ではない。京都 ONE 構想の可能性追求レベルと推測される。ASPサービスの運営に目的が有るわけではない。智恵及び官へのプレッシャーは引き受け

ると公言されている。

- ・ ASP サービスのベースロードを実現するには京都市自身が利用者（サービス提供）の分野を考慮する必要がある。企業（市民）の利便性の観点で許認可が必須な業種・業務を分析・調査しソリューションの方策を検討する。提言若しくは中小企業向け ASP サービスの立ち上げに到達することは地域情報化に貢献できることである。
- ・ 京都府中小企業団体中央会、ITC 京都（IT コーディネーターの団体）、税理士・司法書士・会計士等の専門家等とも意見交換し進める。
- ・ 地域情報化委員会としてはWG（委員会のボランティア・メンバー、KCA メンバー）からの報告を受け、大所高所から意見及び次回迄の実施すべき事項を確定する。
- ・ 今回の調査事項等
 - ① 京都 ONE 構想の地元関係者との調整（中小企業）グループをスタートへ。
 - ② 許認可業種及び関連業界団体との会合に向けての京都府中小企業団体中央会との調整を着手する。
 - ③ 中小企業の ASP サービスで先行されている大阪府中小企業 IT 化推進協議会の現状をヒヤリングする。

■ 次回の地域情報化委員会

日時：10月8日（火）、15時～17時

場所：（社）京都府情報産業協会 事務所 （京都コンピュータ学院駅前校1F）

以上